



注意！ Windows 7、使い続けていませんか？

マイクロソフト社が提供する「Windows 7」が令和2年1月14日にサポート期間終了となり、更新プログラムが提供されなくなりました。使い続けると、ウイルス感染等の被害に遭うおそれが高まるため、早急に「Windows10」等のサポート期間内のOSに移行しましょう

「サポート期間終了」とは？

皆さんがお使いのパソコンはOS（基本ソフト）が入っており、その名の通り、パソコンを動かす上で欠かせない基本的な機能を提供しています

OSには欠陥が発見されることがあり、OS提供会社は、その欠陥を直すための更新プログラムを利用者に提供しています

OS提供会社は、更新プログラムを提供したり、問合せに対応する期間である「サポート期間」を設定しており、期間が終了すると欠陥が見つかっていても修正が行われないため、安全に使い続けることができません

このサポート期間は、パソコンのOSに限らず、スマートフォンのOSにも設定されています

使い続けると、どんな危険が？

- ① OSに欠陥が発見されても、更新プログラムが提供されない
- ② ウイルス対策ソフトも基本的にはサポート終了になる（一部製品除く）
- ③ OSの欠陥を悪用した不正アクセス、ウイルス感染等のサイバー犯罪に巻き込まれるおそれが高まる
- ④ OSの欠陥を悪用され、気付かないうちに、個人情報流出や金銭的な被害が発生するおそれがある

対策

- 「Windows 7」を使っている場合は、「Windows10」等のサポート期間内のOSに移行しましょう
※Windowsのバージョンを確認するには、「スタート」から「プログラムとファイルの検索」ボックスに「winver」と入力してエンターキーを押します
- 事情により、すぐに移行できない場合は、「Windows 7」をサポートするウイルス対策ソフトを導入し、移行まで最新の状態を保ちましょう
- しばらく「Windows 7」を使い続ける事業者等は、令和5年1月まで更新プログラムが提供される「Windows 7 ESU」の導入を検討しましょう

被害に関する相談は「サイバー犯罪情報・被害相談専用電話」又は最寄りの警察署へ

▼サイバー犯罪情報・被害相談専用電話▼

080-2350-0001（平日午前8時30分から午後5時15分まで）